

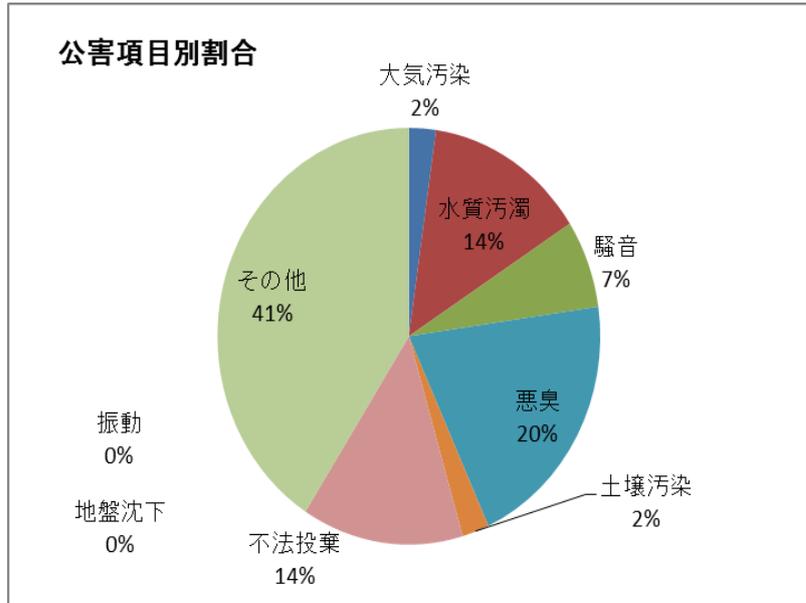
7 公害苦情発生状況

平成25年度に受け付けた公害苦情は44件であった。このうち、典型7公害(大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭、土壌汚染、地盤沈下)に係るものが20件、その他のものは24件であり、その内訳は次のとおりであった。

表7-1

図7-1

分類	公害の種類	件数
典型7公害	大気汚染	1
	水質汚濁	6
	騒音	3
	振動	0
	悪臭	9
	土壌汚染	1
	地盤沈下	0
	小計	20
その他	不法投棄	6
	その他	18
	小計	24
合計		44



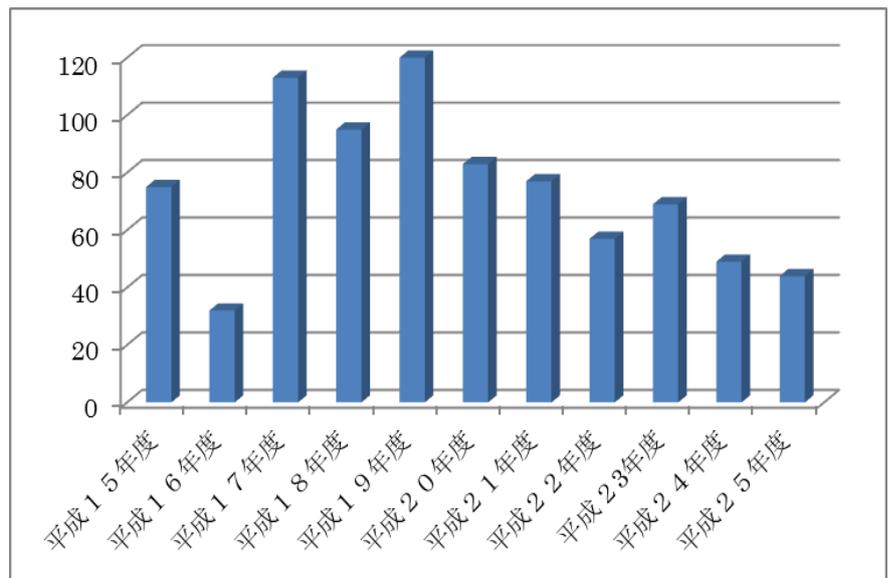
典型7公害のうち、苦情件数が最も多かったのは「悪臭」の9件で、畜産業者からのものが6件と最も多く、その他は一般家庭、堆肥の野積み、建築業者が原因のものが各1件ずつであった。次に多いのが「水質汚濁」の6件で一般廃棄物と建築廃材によるものが3件ずつであった。続いて、「騒音」の3件で、運送業が主であったが、原因が特定できないものが1件あった。また、「大気汚染」と「土壌汚染」が1件ずつあり、「大気汚染」は解体業、「土壌汚染」は畜産業が原因であった。

なお、「振動」「地盤沈下」の苦情はなかった。

以上、典型7公害については20件であり、割合としては、45%であり、典型7公害以外の苦情が全体の55%であった。中でも最も多かったのは、「その他」に関する24件で、割合は41%を占め、一般家庭による野焼きに関するものが多く見られた。

表7-2 年度別苦情件数 図7-2

年 度	件数
平成15年度	75
平成16年度	32
平成17年度	113
平成18年度	95
平成19年度	120
平成20年度	83
平成21年度	77
平成22年度	57
平成23年度	69
平成24年度	49
平成25年度	44



過去10年間の年度別苦情件数は、表7-2及び図7-2に示すとおりである。

近年の動向としては、平成23年度に苦情件数は増加に転じたが、平成24年度は20件の減少となっており、25年も引き続き5件の減少となった。

全体として苦情件数は減少したが、一般家庭による野焼きに関する苦情の割合は依然として高く、市では、市広報紙及びホームページにより、市民への屋外焼却行為の禁止や廃棄物の適正処理について周知徹底に努めてきた。